

# 教科書に書かないことを教えるのが授業

総合科学部 人間社会学科

有馬 卓也 ありまたくや

有馬先生の専門は中国の古代思想や日本の幕末維新、また明治時代の漢学です。

中国の古代思想や漢学など聞くと難しく感じますが、授業にはなんと中国の怪奇小説や妖怪の話なども使われています。

妖怪は人間の恐怖心が創り出したもので、歴史や文化を学ぶ恰好の材料になるという有馬先生。受講生にいかにももしろく興味をもってもらえるかというところに重点を置いた内容です。

鹿児島大学を卒業後、九州大学を経て1991年に徳大へ。

「自分が学生の時おもしろいと思った先生を見習ったり、学生時代に塾の講師のアルバイトをしたことが



と読む場合もあるからです。

そこで役立っているのが大好きな落語とマンガです。手作りのテキストにもマンガやアニメが利用されていて、とても楽しいものになっています。マンガの中には多くの歴史や故事が引用されているからです。

また目からイメージできるように、ドラマをビデオで観賞したり小説を紹介したりと、多角的に授業に工夫をこらしています。

「教科書に書いてあることは読めばわかるのです。そこに書いてないことを教えるのが授業だと思っています。」

授業が進むと、どんどん本題からはなれてマンガや小説などの話に展開することもしばしば。落語でいう「ダレ場」のようなもので、自称「わるのり劇場」の始まりです。しかしここにはちゃんと再び本題にもど

て、講義の本質へと導いていく布石が打たれているのです。受講生は、「なるほどあのマンガの話と中国の歴史がこのようにつながっていたのか」と理解しやすくなるのです。

高校の時の漢文や古文の授業もこんなふうだったらおもしろかっただろうと思います。「社会に出てからも役立つような知識や知恵を学んでもらいたい。見方をちよつと変えるだけでも世界が変わります。だから単位を取るだけの授業にはしたくないんです。」

直接言葉では言わないけれど、有馬先生の授業にはこんな思いがあります。

## 受講生のコメント

思想や哲学などの難しい内容をすごくわかりやすく話してくれます。マンガやアニメを使った例え話もおもしろくて、次のステップに移りやすいですね。気さくで、勉強以外のこともいろいろ相談にものってくれます。



## とくtalkへのご意見

- 写真の入れ方やカットにも工夫が見られ、随分読みやすくなったように思います。見出しにもう一工夫するのはどうでしょうか。
- 冊子を手にした人に興味を持って貰えるよう、今まで以上に見出しにも配慮した誌面づくりを目指します。
- 「徳大の研究成果から生まれた製品の紹介」などがあると高校生へのインパクトと

- なり、社会への貢献のアピールにもなると思います。
- ご提案ありがとうございます。『とくtalk』で「取り上げて欲しい」、「取り上げるべきだ」といったテーマがありましたら、どんどん、ご意見下さい。
- 盛り沢山の基本方針がございましたが、徳島大学をガンガン外に向かって宣伝する手段の一つに積極的に利用されますよう望み

- ます。
- 現在、『とくtalk』は学内関係者だけではなく県内報道機関や関係民間企業にも配布しております。また、徳島県庁などにも置いてもらい、一般の方にも読んで頂けるようにしております。今後とも『とくtalk』で、ドシドシ、徳島大学をアピールしていきたいと思っています。